

「山形県立河北病院及び寒河江市立病院の統合再編・新病院整備基本計画(案)」に対する意見募集の結果

1 意見の募集期間 令和8年1月28日(水)～令和8年2月27日(金)

2 提出された意見の件数 28件(意見者数 11人)

3 提出された意見の概要及び意見に対する協議会の考え方

(注) 趣旨が同じ内容はまとめたうえで、要約しています。

番号	項目	御意見の概要	協議会の考え方
1	第1章 全体計画	「新病院の役割」の「2)救急医療を支える柱としての役割」の中で、「町立2病院との連携」を明記しないのか。	基本計画(案)1頁に記載している新病院の役割を果たすため、「新病院の機能」として、診療機能の特徴や強化を目指す分野の機能を記載しておりますので、御理解くださるようお願いいたします。
2	第1章 全体計画	安心して子育てするため、休日・夜間、子どもの急病時にも対応してもらえるよう、小児科を充実してほしい。	基本計画(案)2頁「救急医療」及び5頁「診療科構成」に記載のとおり、統合する現2病院の診療科を基本に、小児科を含む診療科の確保に向けて取り組むほか、小児救急については、非常勤医師による外来診療日の確保や総合診療科医師による初期診療などにより、できる限りの充実を目指すこととしております。また、休日や夜間等の時間帯については、診療体制が整っている山形市内の小児二次救急医療機関等との適切な役割分担を目指してまいります。
3	第1章 全体計画	産婦人科について、セミオープンシステムではなく、出産や妊娠中の救急対応もできる機能をもたせてほしい。	令和7年3月に策定した「基本構想」において「地域内の出生件数が減少し、かつ県全体で産科医の数が限られる中では、高度な分娩対応が可能な医療機関に産科医を集中配置することが適当であり、新病院が分娩機能を有することは現実的ではない」と整理しました。基本計画(案)2頁「外来機能」及び5頁「診療科構成」に記載のとおり、診療科の確保に向けて取り組むとともに、産科セミオープンシステムのもとで妊産婦検診に対応することを目指してまいります。
4	第1章 全体計画	西村山地域には多くの透析患者がおり、地元の新設される総合病院に透析室の設置計画がないのは納得できない。透析室を確保してほしい。	令和7年3月に策定した「基本構想」において、寒河江市立病院では透析を実施していないことや県立河北病院では既に規模を縮小しながら透析を実施していることなど、現状や課題、医療関係者等の意見を踏まえ「人工透析については、専門医のいる地域の民間医療機関への適切な移行を促進し、新病院においては実施しない」と整理しました。現在、県立河北病院で透析治療を受けられている患者さんが引き続き必要な透

番号	項目	御意見の概要	協議会の考え方
			<p>析治療を受けられるよう、適切かつ丁寧に対応しているところです。</p> <p>透析医療の提供体制につきましては、医療従事者の確保や需要と供給を踏まえ、県全体における持続可能な体制確保について検討してまいります。</p>
5	第1章 全体計画	在宅医療の機能は重要であり、新病院立ち上げ早々に軌道に乗せることが重要。	現2病院でも訪問診療の提供を行っており、新病院においても在宅医療機能の充実を図ってまいります。
6	第1章 全体計画	健康診断や人間ドックを行ってほしい。	新病院の建設予定地である寒河江市内には、人間ドックを実施する健診機関があること等を踏まえ、新病院では人間ドックを実施しないこととしております。
7	第1章 全体計画	県立中央病院との連携を記載すべき。	県立中央病院は山形市内の急性期病院であり、かつ高度で専門的な治療に対応する三次救急医療機関ですので、第1章「全体計画」各関係項目に記載のとおり、連携を図ることとしております。
8	第1章 全体計画	西村山郡地域の病院や施設との連携をしっかりと行ってほしい。	基本計画（案）1頁「新病院の役割」に記載のとおり、地域包括ケアシステムの中核として、地域の医療・介護・行政関係者との連携の取り組みを継承・充実させるとともに、3頁「周辺医療機関との連携」に記載のとおり、町立2病院との連携についても、しっかりと取り組んでまいります。
9	第1章 全体計画	医薬品等の調達について、他病院や民間を含めて共同調達してはどうか。	医薬品等の共同購買を含む周辺医療機関との連携については、地域医療連携推進法人の活用を含め最適な方策について、引き続き検討してまいります。
10	第1章 全体計画	総合診療科医師を新病院で育成・確保し、西村山地域内の医療従事者のスキルアップのため、共同研修の機会等を提供してはどうか。	総合診療科医師の育成・確保に向けて、新病院では専門研修基幹施設としての認定を目指すこととしています。また、地域の医療従事者のスキルアップを支援してまいります。
11	第1章 全体計画	新病院建設は喜ばしい。循環器（心疾患）に特化した部門も検討してほしい。	基本計画（案）5頁に記載のとおり、統合する現2病院の診療科を基本として、16診療科を目指し、医師確保に取り組むこととしています。また、循環器に特化した診療は予定しておりませんが、2頁「急性期の診療機能」に記載のとおり、慢性心不全など内科系疾患について総合的に診療できる体制の充実を目指してまいります。
12	第1章	メンタルケアも大事になっているので、精神科、心	基本計画（案）5頁に記載のとおり、「診療科構成」については、統合

番号	項目	御意見の概要	協議会の考え方
	全体計画	療内科を加えた方が良いのではないか。	する現2病院の診療科を基本として、16診療科を目指すこととしています。精神科、心療内科の設置予定はありませんが、新病院においても、必要に応じて専門医を紹介するなど患者さんに寄り添った対応をまいります。
13	第1章 全体計画	全室個室とすることで患者負担は増えないよう、また看護体制や病院経営を考慮してほしい。	基本計画（案）7頁「2）-1病室」及び8頁「図表4」に記載のとおり、病室の多くはいわゆる差額ベッド代を徴収しない無償室（一部、トイレ付個室は有償）とする予定です。また、看護動線の短縮や効率的な見守り等のための病棟配置を検討するほか、全室個室のメリットを生かした病床稼働率の向上に向けて取り組んでまいります。
14	第1章 全体計画	6頁6) その他に面会者への対応を記載すべき。	面会者に係る入棟管理等については、次年度以降、施設整備等の検討を行う中で十分検討してまいります。
15	第1章 全体計画	河北病院を利用しているが、待ち時間の短さ、スタッフの対応、モニターでの順番の掲示、医師の丁寧な説明など、今の良いところを継続してほしい。 他の病院ではスタッフの雑談が聞こえることがあり、意識の違いを感じる。 利用者にも、働く職員にも優しい病院にしてほしい。	新病院では、患者さんのプライバシーに配慮し、快適性に留意した待合空間の整備、待ち時間の短縮等に取り組んでまいります。 また、基本計画（案）1頁「新病院の基本方針」で掲げているとおり、患者さんの権利と意思を尊重すること、患者さんに寄り添った医療やケアを提供できる人材を育成すること、働きやすく職員が誇りとやりがいを持てる職場環境を作ることなどを基本に取り組んでまいります。
16	第2章 部門別計画	ICU（集中治療室）は設置するのか。	基本計画（案）10頁に記載のとおり、新病院は地域の二次救急医療機関として、軽症から中等症の救急患者を受け入れ、重症・重篤患者については三次救急医療機関と速やかに連携することとしており、ICUを設置する予定はありません。
17	第2章 部門別計画	内視鏡について、内科領域に関する記載はあるが、整形外科、泌尿器科領域も記載してはどうか。	基本計画（案）13頁「内視鏡部門」では、現2病院の診療機能を基に検討した結果として、内視鏡室で実施する上部・下部消化管を中心とした検査・治療について記載しております。
18	第2章 部門別計画	抗がん剤の調剤はがん専門薬剤師が行うのか。	新病院における運用の詳細は、次年度以降、検討してまいります。
19	第2章 部門別計画	計画上、放射線については、単純・CT・MR・骨密度・マンモについて整備すると記載されているが、河北病院で行っている核医学検査（SPECT検査）は廃止	現在、河北病院で保有しているSPECT-CTについては、病院の規模や現在の使用実績等を踏まえ、新病院では整備しないこととしており、当該検査が必要な際には県立中央病院等と連携することで対応してまいります。

番号	項目	御意見の概要	協議会の考え方
		するのか。廃止すれば患者は山形市に流出することになる。心不全の患者に核医学検査を行うことで収益も見込めると思う。再度検討してほしい。	す。
20	第2章 部門別計画	放射線部門において、放射線診断専門医を配置しないのか。	新病院における医師配置の有無等の詳細は、医師配置や確保の状況を踏まえながら、次年度以降、検討してまいります。
21	第2章 部門別計画	言語療法士（言語聴覚士）の配置はしないのか。	新病院では言語聴覚士を配置し、各疾患別リハビリテーション施設基準の取得を目指すこととしております。
22	第2章 部門別計画	病理検査（外部委託）とあるが、がんの手術は行わないのか。	基本計画（案）2頁「急性期の診療機能」に記載のとおり、手術には一定程度応じられる体制を目指すこととしておりますが、高度で専門的な治療が必要ながん等の患者については、山形市内の三次医療機関や基幹病院に速やかに繋ぐよう努めることとしております。
23	第2章 部門別計画	地域の食材を生かした地産地消メニューを取り入れるのか。	新病院における給食メニュー等の詳細については、次年度以降、検討してまいります。
24	第2章 部門別計画	医薬品等や医療機器の選定はどのように行うのか。	医薬品等の調達にあたっては、法令等の定めに則り、公正で透明性の高い競争環境を確保した上で適正に実施してまいります。
25	第3章 部門横断計画	医事・清掃・設備管理等の業務を一括して外部委託することを検討してはどうか。	基本計画（案）33頁に記載のとおり、現2病院の委託業務を整理・評価した上で、民間事業者の専門性等が生かせる業務への外部委託の導入について、次年度以降、検討してまいります。
26	第4章 施設整備計画	電気設備や衛生設備等の整備に関して、浸水、長期間の停電、断水を考慮しているか。	基本計画（案）38頁に記載のとおり、設備整備に共通する基本方針として「災害時に備えた事業継続性の確保」を掲げております。新病院が目指す医療機能を十分に発揮し、患者及び病院関係者にとって安全・安心、快適な環境を確保できるよう、設計段階において具体的な検討をしてまいります。